

環境目標と実績

井関グループは、グループ全体で環境マネジメントシステム (EMS) を導入して環境経営に取り組んでいます。環境負荷低減について、2016年に2020年までの国内における新たな中期環境負荷低減目標を設定しました。2017年度の環境に配慮した事業活動の実績と今後の課題は下記の通りです。

2020環境負荷低減中期目標と2017年度の活動実績

環境マネジメントシステム推進における2017年度の主な活動実績

| 2017年度の主な活動目標 | 2017年度の主な活動実績 |
|--|-------------------------------|
| 環境マネジメントシステムの推進拡大 | つくばみらい事業所がEA21認証を取得 |
| 従業員の環境意識の向上 | 環境教育の実施：2回、清掃活動への参加 |
| 調達部品に含まれる有害物質の使用禁止・削減・抑制 | 取引先の認証取得推進や情報提供を通じたグリーン調達率の向上 |
| 製品アセスメントシステム・ライフサイクルアセスメント(LCA) 評価運用による環境負荷低減商品の開発 | 環境適合設計の推進によるエコ商品認定機種4機種追加 |
| 生物多様性に配慮した商品を開発・販売 | 土壌センサ搭載型可変施肥田植機の本格販売開始 |
| 生産における環境負荷低減の促進 | 下記参照 |

生産活動における環境負荷低減の促進

| | 2020環境負荷低減中期目標 | | 2017年度目標 | 2017年度達成率 | | 評価 |
|----------|--------------------------|---------------------------|----------|-------------------|------|----|
| | 削減率 | 削減率 | | 達成率 | 達成率 | |
| 低炭素社会の表現 | CO ₂ 排出量の削減 | 2020年までに11%減 年間1.57%減 | 6.3%以上削減 | 生産高当たり | 89% | △ |
| | | | | 排出量 | 97% | △ |
| | 物流CO ₂ 排出量の削減 | 2020年までに10.5%減 年間1.5%減 | 6%以上削減 | 輸送量当たり (万トンキロ) | 101% | ○ |
| 製造資源 | 総物資投入量の削減 | 2020年までに10.5%減 年間1.5%減 | 6%以上削減 | 生産高当たり | 97% | △ |
| | | | | 投入量 | 105% | ○ |
| 循環型社会形成 | 水使用量の削減 | 2020年までに51%減 年間7.3%減 | 29%以上削減 | 生産高当たり | 114% | ○ |
| | | | | 使用量 | 123% | ○ |
| | 廃棄物最終処分量の削減 | 2020年までに14%減 年間2%減 | 8%以上削減 | 生産高当たり | 130% | ○ |
| | | | | 処分量 | 141% | ○ |
| 有害化学物質 | PRTR法対象の 化学物質使用量の削減 | 2020年までに19.6%減 年間2.8%減 | 11%以上削減 | 生産高当たり | 144% | ○ |
| | | | | 使用量 | 155% | ○ |

※2013年度基準 生産高当たりの目標および実績。

※エネルギー起源物流CO₂排出量の削減については、輸送量(万トンキロ)当たりの目標および実績。

※対象：国内3製造所(井関松山製造所、井関熊本製造所、井関新潟製造所)

今後の重点課題と目標

- ▶ 国内販売会社と海外拠点における環境負荷低減活動のレベルアップ
- ▶ 取引先との協働によるグリーン調達の更なる推進とCSR調達への取り組み
- ▶ 安心・安全な商品の提供、商品品質の確保、環境適合設計の更なる推進

2030年度

CO₂排出量 **26%**削減(2013年度比)

2020年度

エコ商品比率 **30%**(国内売上高比)

※井関邦栄製造所は、2018年1月井関松山製造所と合併しました。